

宛) 寒川町議会議長 佐藤一夫 様

令和4年11月8日

加齢性難聴者の補聴器購入に公的助成を^等求める陳情

全日本年金者組合寒川支部 支部長

皆川忠夫

現行制度では、障害者手帳の交付を受けた人を対象にして「国が実施する医療補助制度」のみのため、加齢性難聴による中・軽度は対象になりません。

最近では聞きにくさが、ひいてはうつ病や認知症の危険因子になること、早期発見が難聴の度合いを遅らせることも指摘されています。

数年前、年金者組合が加齢性難聴者の助成制度の陳情をしました。寒川町では「文教福祉常任委員会」で審議されましたが、共産党議員の賛成のみでこの陳情は否決されました。

2021年には、全日本年金者組合が自治体に向けた請願陳情を全県で取り組みました。

補聴器補助は、2021年3月10日に寒川町長に陳情し、その回答が届きましたが、「町独自の助成制度を実施する予定はありません」でした。

2021年の調査で、町独自の助成制度を実施している自治体は、葉山町、座間市、中井町、厚木市、清川村で、1万円の補助を実施していることがわかりました。

愛川町は、70歳以上の高齢者で、税金を完納していて、障害者手帳を持っていない人を対象に補聴器購入費用2万円支給を実施しています。

相模原市は65歳以上の高齢者で住民税非課税の人に、補聴器購入費用2万円支給を2022年7月1日から開始しました。

1. 寒川町でも加齢性難聴者の補聴器購入に公的助成をしていただきたい。
2. 高齢の女性組合員から「特定健康診査で聴力検査が受けられるように改善して欲しい」との声が寄せられています。ご検討をお願いします。

茅ヶ崎市は高齢者が利用する窓口や会議室に磁気ループを設置しています。

磁気ループとは、市役所、公民館、会議室といった公共施設の床などにループアンテナを設置し、マイクの音を磁気に変え、その磁気を補聴器の人工内耳などが感知して直接音声を聞くことができる仕組みです。

茅ヶ崎市役所の高齢者を担当する部署（高齢・介護課など）には、常時磁気ループを設置してあります。茅ヶ崎市民文化会館の小ホールには、常時磁気ループを設置してあります。映画などを鑑賞するとき、被り物を貸出します。被り物をすれば、聞こえが良いと加齢性難聴者に好評です。

3. 茅ヶ崎市を調査して、寒川町でも磁気ループ設置の検討をしていただきたい。

以上